

## 令和5年度(2023年度) 院内教育計画

目的: 埼玉県立精神医療センター看護部の理念に基づき、看護職員の教育計画の立案・各研修の企画・実施・評価を行うとともに各看護単位が実施する分散教育との連携を図り、質の高い看護職員を育成する。

目標: 1 精神科看護実践に必要な能力を習得し、患者の状況変化と個別性を踏まえた看護実践ができる。

2 各看護単位と関係部署との連携を図り、効果的な研修が実施でき、看護実践に反映できる。

3 看護を取り巻く諸問題について、総合的な判断能力を養い問題解決ができる看護師を育成する。

	研修名	日程と方法	対象者	講師	目 標
レ ベ ル I	新採用者全体 オリエンテーション	4月 ・講義・演習 ・eラーニング	・新採用者 ・転入者	病院長・副病院長 看護部長・副部長 看護師長・副師長 主任看護師 セーフティマネージャー 他	1)センター・看護部の概要を理解し、職場に適応できる ①センターの組織・事業の概要を理解する ②看護部の組織と業務の概要を理解する ③センター内の他部門の役割・業務と看護業務との連携について学ぶ ④看護業務に必要なマニュアル等について理解する ⑤日常業務に必要なオーダーリングシステムについて理解できる
	感染管理 I	4月 ・講義・演習 ・eラーニング	・新採用者	感染対策リンクネー ース	1)感染防止のための知識が習得できる 2)標準予防策を理解し実施できる
	看護技術研修 1 採血 2 輸液準備 3 環境整備 4 食事援助 5 活動・休息 6 排泄援助 7 呼吸・循環 8 清潔・衣生活 9 与薬	4月 ・講義・演習 ・eラーニング	・新採用者	医療安全リンクネー ース 主任看護師	1)看護手順やガイドラインに沿って、基本的な看護技術を用いて看護援助 できる 2)精神科特有の処置技術について習得し、看護実践に活かすことができる
	フィジカル アセスメント	5月 ・院外研修	・新採用者	院外研修 (埼看協)	1)フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を理解できる
	看護過程	6月 ・講義	・新採用者 ・転入者	主任看護師	1)精神科看護実践に必要な情報・アセスメントの視点を理解し、看護計画 立案に生かすことができる
	看護倫理 I	9月 ・講義・GW	・新採用者	認定看護師	1)看護師の倫理綱領が理解できる 2)職業倫理に則った行動ができる 3)個人情報保護について理解できる
	医療安全 I	9月 ・講義	・新採用者	セーフティマネー ジャー	1)インシデントとアクシデントを理解し報告できる 2)組織の一員として医療安全を考えられる 3)自己の傾向を知り事故防止に役立てられる
	新採用者 フォローアップ 研修(3・6・12ヶ月)	6月・10月・2月 GW	・新採用者	看護部長・副部長	1)グループワークをととして、看護師として成長している自分を認識できる 2)12ヶ月研修では、看護実践を振り返り、自己の成長と1年で獲得した看 護に対する考え方、2年目の実践目標を認識できる (レベルI 認定課題レポート提出)
	救急看護 I-1 救急看護 I-2 救急看護 I-3	5月・6月・10月 OJT ・eラーニング	・新採用者	BLS 取得者	1)救急看護の基本が理解できる 2)急変時に必要な看護技術を身につけることができる 3)救急看護・心電図( eラーニング)
	プライマリナー ス 育成研修	11月 OJT	・新採用者	・看護師長 ・主任看護師	1)プライマリナー スの機能及び役割責任と看護業務の実際を認識できる
レ ベ ル II	看護倫理 II	11月 講義・GW ・eラーニング	レベルII 認定 をめざす人	認定看護師	1)看護倫理について理解し、臨床現場で起こる倫理的問題に気付くことが できる 2)精神科特有の倫理的問題を理解できる 3)患者を尊重した看護実践ができる
	医療安全 II	12月 ・講義・GW ・eラーニング	レベルII 認定 をめざす人	セーフティマネー ジャー 医療安全リンクネー ース	1) 発生したインデントの分析方法が分かる。(RCA分析) 2) 発生したインシデントから自己の行動を分析し、問題点を明確にできる
	感染管理 II	9月 ・eラーニング	レベルII 認定 をめざす人	主任看護師	1)感染症の基礎知識について理解できる 2)スタンダードプリコーションが実践でき、感染経路別の防止策が分かり実 践できる
	静脈注射 (院内認定)	・講義・演習 5・6・7月	レベルII 認定 をめざす人	教育委員	1)静脈注射を安全に実施するために必要な知識、技術を習得できる

レベルⅢ	看護管理Ⅲ	9月 ・講義・GW	レベルⅢ認定 をめざす人	看護副部長 看護師長	1)リーダーナースの役割を理解し、所属部署においてリーダーシップを発揮できる 2)看護単位内における係としての役割を理解し、責任を持って遂行できる 3)看護単位の患者状況を見ながら、1日の個人・チームの業務配分ができる
	看護倫理Ⅲ	6月 ・講義・GW	レベルⅢ認定 をめざす人	認定看護師	1)患者の人権を尊重した看護実践ができる 2)看護実践の中で起こる倫理的問題について問題提起することができる
	医療安全Ⅲ	5月 ・講義・GW ・eラーニング	レベルⅢ認定 をめざす人	セーフティマネージャー 医療安全リンクナース	1)発生したインシデントの分析手法を学ぶ 2)RCA分析を学び自部署の問題解決に取り組むことができる
	感染管理Ⅲ	7月 ・講義・演習 ・eラーニング	レベルⅢ認定 をめざす人	感染対策リンクナース	1)スタンダードプリコーションの徹底についてスタッフを指導できる 2)感染防止発生時の初期対応がスムーズにできるスキルを習得できる 3)自部署における感染対策の課題について考えることができる
	アサーション トレーニング	10月 ・講義 院外研修	レベルⅢ認定 をめざす人	認定看護師	1)自分・相手双方を大切に自己表現法(アサーショントレーニング)を学び、医療・看護の場で円滑な人間関係形成に生かすことができる
	プリセプターシップ 研修	院外研修 ・eラーニング	レベルⅢ認定 をめざす人	院外研修 (埼看協)	1)プリセプターとして、新人看護師の不安を取り除き、職場にスムーズに適応するための支援を学ぶ
	看護観研修	5月 ・講義・GW	レベルⅢ認定 をめざす人	看護師長	1)看護実践を通して「私にとって看護とは何か」を明らかにし、発展的な職業観形成の一歩にできる ①グループワークを通して、他者の看護観から学ぶ ②文献学習・研修を通して、自己の看護観を深めることができる (レベルⅢ認定課題 看護観レポート提出)
レベルⅣ	看護管理Ⅳ	5月 ・講義・演習 ・eラーニング	レベルⅣ認定 をめざす人	看護副部長	1)中堅ナースとして、所属部署でリーダーシップを発揮し、責任ある行動がとれる 2)看護部内の委員会活動において看護単位の代表として役割を遂行できる
	看護倫理Ⅳ	6月 ・講義・GW	レベルⅣ認定 をめざす人	認定看護師 倫理推進者	1)倫理的視点に基づき看護実践を深め発展させることができる 2)倫理的問題の分析方法が分かる
	医療安全Ⅳ	7月 ・講義・演習 ・eラーニング	レベルⅣ認定 をめざす人	セーフティマネージャー 医療安全リンクナース	1)危険予知について理解し、実践場面に繋げることができる 2)自部署における事故防止対策に取り組み、リーダーシップを発揮することができる 3)医療安全への取り組みの成果を報告できる
	本 部 主 催 研 修	コンフリクトマ ネジメント 概要編	9月 ・講義	レベルⅣ認定 をめざす人	院外講師
看護管理		6月 ・講義・GW	レベルⅣ認定 をめざす人	院外講師	1)タイムマネジメントを学び、リーダーシップに活かすことができる
臨床倫理		10月 ・講義	レベルⅣ認定 をめざす人	院外講師	1)臨床倫理を学び、倫理的課題に取り組むことができる
レベルⅤ	看護管理Ⅴ	5月 ・講義・GW ・eラーニング	レベルⅤ認定 をめざす人	看護副部長	1)組織の理念・目標、看護管理者としての役割を理解し看護師長の代行としての役割が果たせる 2)組織分析手法を学び、自部署の課題を見出すことができる 3)課題に対し、看護管理の視点で看護実践し評価できる
	看護倫理Ⅴ (倫理推進者研修)	6月 ・講義・GW ・eラーニング	レベルⅤ認定 をめざす人 倫理推進者	院外講師	1)倫理的問題の分析方法を活用できる 2)倫理カンファレンスを実施、評価できる
	本 部 主 催 研 修	コンフリクトマ ネジメント 事例対応編	7月 ・講義・GW	レベルⅤ認定 をめざす人	院外講師
新卒2年目フォローアップ	7月・1月 院外研修 GW	新卒2年目 リーダーⅠ修了者	看護部長・副部長 教育委員	1)2年目看護師の役割と責任について自覚し、生き生きと活動できる 2)グループワークをとおして、自己の成長を実感できる	
看護管理研修1	6月、12月 ・講義・GW ・eラーニング	主任認定 主任 看護師(マネ ジメントリーダー0)	看護部長 看護副部長	1)看護管理を行う上で必要な、専門的な知識・技術を修得できる 2)看護管理上の課題からテーマを選び、グループ学習を企画・実施できる	

看護管理研修2	6月、12月 ・講義・GW ・eラーニング	看護師長 副 師長 看護副 部長(マネジメント ラダー I 以上)	看護部長 or 院外 講師	1) 社会・看護の動向を捉え、看護管理を行うための専門的知識・技術を修得できる 2) 看護管理上の課題を見だし、組織変革につなげるための企画・運営ができる
看護助手研修	・eラーニング	看護助手	看護師長	1) 看護助手業務を行う上で必要な知識・技術・態度を学び、助手業務に生かすことができる

図1 精神科専門研修ベーシック

研修名	日程と方法	対象者	講師	目 標
導入	4月 院外研修	新採用看護師 転入者 レベル I 受審 必須研修	院外講師 埼精看	1) 精神科看護に従事する初心者を対象に、精神科看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ ①精神疾患・治療の理解 ②精神医療の歴史と課題 ③精神科患者の人権と法 ④精神科における倫理課題
ベーシック (図1)	<b>全 看護師 対象</b>			1) 根拠に基づいた看護実践の提供を目的に、各看護単位で実践される看護に共通する精神科看護の基礎的な知識(理論)を学ぶ
	5月 講義・演習	全員	院内講師 CVPPP 取得者	包括的暴力防止プログラム研修
	9月 講義	レベル I 受審 必修研修	院外講師	人間関係論 I
	10月 講義	レベル II 受審 必須研修	認定看護師	発達理論 II
	10月 講義	レベル III 受審 必須研修	認定看護師	ストレス・リカバリーモデル III
	11月 講義		認定看護師	SST 研修 III
12月 講義	認定看護師		認知行動療法 III	
アドバンスト (図1)	5月～2月 講義・演習	レベル IV 認定者	教育委員会 認定看護師 倫理推進者 行動制限最小化 認定者	行動制限最小化に関する認定制度研修(院内認定)
	講義・演習		認定看護師等	専門・認定看護師が企画・運営する精神科看護の専門性を深める研修

図1 精神科専門研修ベーシック・アドバンスト

ベーシック			アドバンスト
			行動制限最小化に関する認定制度研修 専門・認定看護師が企画・運営する精神科 看護の専門性を深める研修
		II	III ストレス・リカバリーモデル、 SST、認知行動療法
	I	発達理論	
	人間関係論		
全体研修	包括的暴力防止プログラム		

(看護職員全体研修)

	研修名	日程と方法	対象者	講師	目 標
全 体 研 修	看護研究	4月～3月	看護職員全員	院外講師	1) 看護研究を行うにあたり、基礎的な知識を学ぶ
	看護研究指導	プロセス指導 4月～1月	看護研究取組者	院外講師	1) 精神科看護の臨床現場で看護研究に取り組む意味を理解する 2) 看護研究のプロセス指導を参考に、看護研究をまとめることができる
	看護研究発表会	2月第3 土曜日	看護職員全員	院外講師	1) 当該年度に取り組んだ看護研究の成果を発表し、視点を広げるとともに、センター内研究発表会に向けて発表内容の充実を図る
	看護研修伝達講習会	1～2月	看護職員全員	各部署代表者	1) 研修を共有し、知識を得る。今後の研修参加の参考にする 2) 研修で得た学びを看護実践と統合し、発表することができる。 3) 発表者は自らの学びを伝達する事でプレゼンテーション能力を養う
	救急看護研修	年 1 回	看護職員全員	BLS 取得者	1) 急変時に対応できる看護技術を習得する。
	救急看護推進者 育成研修	6月 ・講義、演習	救急看護推進者・ BLS 取得者	BLS・ACLS 取得 者	1) 各看護単位で救急トレーニングを推進するための知識・技術を修得できる 2) 急変時のチーム対応のスキルを身につける
	トピックス研修	未定	看護職員全員	未定	看護の課題や動向に関する最新の情報や知識を学ぶ